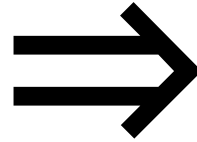


アップグレードピストンキット 交換マニュアル



※製造時期によりピストンの表面処理の色が薄い・濃いなど微妙に異なりますが、性能は同じです。

ピストン交換に必要な工具類



①

②

③

エアークンプレッサー

- ① ピックツール
- ② シャコマン (必要時のみ)
- ③ エアークン (先端にゴム製のアタッチメント付き)
- ④ エアークンプレッサー

その他、段ボールや木片など

Project μ

1、分解前の洗浄。



キャリパー全体をブレーキクリーナーで洗浄する。また、ピストン廻りはなどを使用してブラッシング洗浄し、泥やブレーキパッドのダストを除去してください。

2、固定リングの取り外し。



専用工具を使用してダストブーツの固定リングをすべて外す。

3、エアーツールでピストンを抜く前に。



エアの力でピストンを抜きますが、その前にピストンがエア圧で飛び出ない様に段ボールをパッドの幅に合わせカットし、丸めてキャリパーにセットします。

4、ピストンを抜く ①



エアガンの先にゴム製のアタッチメントを装着し、ブレーキオイルの入り口からエアを少しずつ送り込む。

5、ピストンを抜く ②



ピストンが半分程度出てきたら、段ボールを外して、手でピストンを引き抜く。
注) 万が一、ピストンが1～2個抜けない場合は「番外編」を参照。

6、ピストンを抜く ③



ピストンを抜いた状態。
ピストン入口付近が錆びている場合、サンドペーパーや金ブラシでは磨かない方が良い。
ボディ用のコンパウンドで錆を落としてください。

7、オイルシールを外す。



ピックツールでオイルシールを外す。
先端が尖っている場合は、内部を傷つけないように注意が必要。

8、内部を洗浄する。



内部の汚れや分解した際に混入したゴミを取り除く為にブレーキクリーナーで洗浄し、しっかりと乾燥させる。

【お願い】ブレーキの分解整備は認証工場または自動車整備工場に依頼し、確実な取り付けを行ってください。

Project μ

<p>9、オイルシールにグリスを付着 ①</p>	<p>10、オイルシールにグリスを付着 ②</p>	<p>11、オイルシールを組み込む。</p>	<p>12、ダストブーツにグリスを付着。</p>
			
<p>シールキットに付属または市販のキャリパーシール用グリスを適量取る。着け過ぎても効果は変わりません。</p>	<p>オイルシール全体にグリスをまんべんなく付着する。</p>	<p>グリスが付いたオイルシールはゴミやホコリが付き易いので、すぐにキャリパーに組み込む。 すべてのオイルシールを装着したら、オイルシールがきちんと装着されていることを確認する。</p>	<p>適量のグリスをダストシールに付着する。 ピストンとダストシールとが直接干渉する部分にグリスを付着させる。</p>
<p>13、ピストンにダストブーツを装着する。</p>	<p>14、ピストンにもグリスを付着。</p>	<p>15、ピストンをキャリパーに装着 ①</p>	<p>16、ピストンをキャリパーに装着 ②</p>
			
<p>アップグレードピストンすべてにダストシールを装着する。異形ピストンの場合はサイズを間違わない様に注意が必要。</p>	<p>適量のグリスをピストンの外周部分に薄く塗り拡げ、ゴミが付き易いのですぐにキャリパーへ挿入する。</p>	<p>ピストンホールに対して垂直にピストンをゆっくりと押し込み、90%程度挿入した状態でダストブーツをキャリパーに嵌める。 ※キャリパーの種類により異なりますので、キャリパーに合わせて組み付けを行ってください。</p>	<p>ピストンが壁に当たるまで指で押し込む。</p>

【お願い】ブレーキの分解整備は認証工場または自動車整備工場に依頼し、確実な取り付けを行ってください。

Project μ

<p>17、ダストブーツをリングで固定する。</p>	<p>18、完了。</p>	<p>19、その後の注意点。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ①キャリパーを車体に取り付ける際には、メーカー規定のトルク値で確実に固定してください。 ②ブレーキラインを装着する際は、銅ワッシャーを新品に交換してください。 ③ブレーキライン及びキャリパー内のエア抜きを確実に行ってください。 ④ブレーキフルードリザーバータンクの MAX 値までフルードを補充してください。 ⑤完了後は停止した状態で、ブレーキペダルを数回強く踏んで、キャリパーよりオイルの滲みや漏れが無い事を確認してください。 ⑥ブレーキキャリパーのオイルシールやダストシールは消耗品です。頻繁にサーキット走行を行うと、劣化も早まります。定期的な交換やメンテナンスを実施してください。 ⑦ブレーキフルードは塗装を傷めますのでご注意ください。塗装面に付着した場合は、速やかにブレーキクリーナーやパーツクリーナーで除去してください。
<p>シールキットに付属のリングでダストシールを固定します。</p>	<p>すべてのピストンを交換し終わったら、作業は完了です。</p>	
<p>【 番外編 】</p>	<p>ピストンが1個だけ抜けない場合。</p>	<p>ピストンが2個抜けない場合。</p>
<p>ピストンが抜けない場合は、抜いたピストンの オイルシールとダストシールを取り外した状態 で、再びキャリパーに戻してください。 そして、木片などを併用してピストンをシャコマンで固定します。 この状態で4の作業を繰り返し、抜けなかったピストンを抜いてください。</p>		
	<p>抜いた3個のピストンを再度キャリパーに戻し、シャコマンで固定。エアを送り、抜けなかったピストンを抜いてください。</p>	<p>左の要領で抜いた2個のピストンを再度キャリパーに戻し、シャコマンで固定。エアを送り、抜けなかったピストンを抜いてください。</p>

【お願い】ブレーキの分解整備は認証工場または自動車整備工場に依頼し、確実な取り付けを行ってください。